

都市再生整備計画 事後評価シート
稚内市中心市街地地区

平成24年3月

北海道稚内市

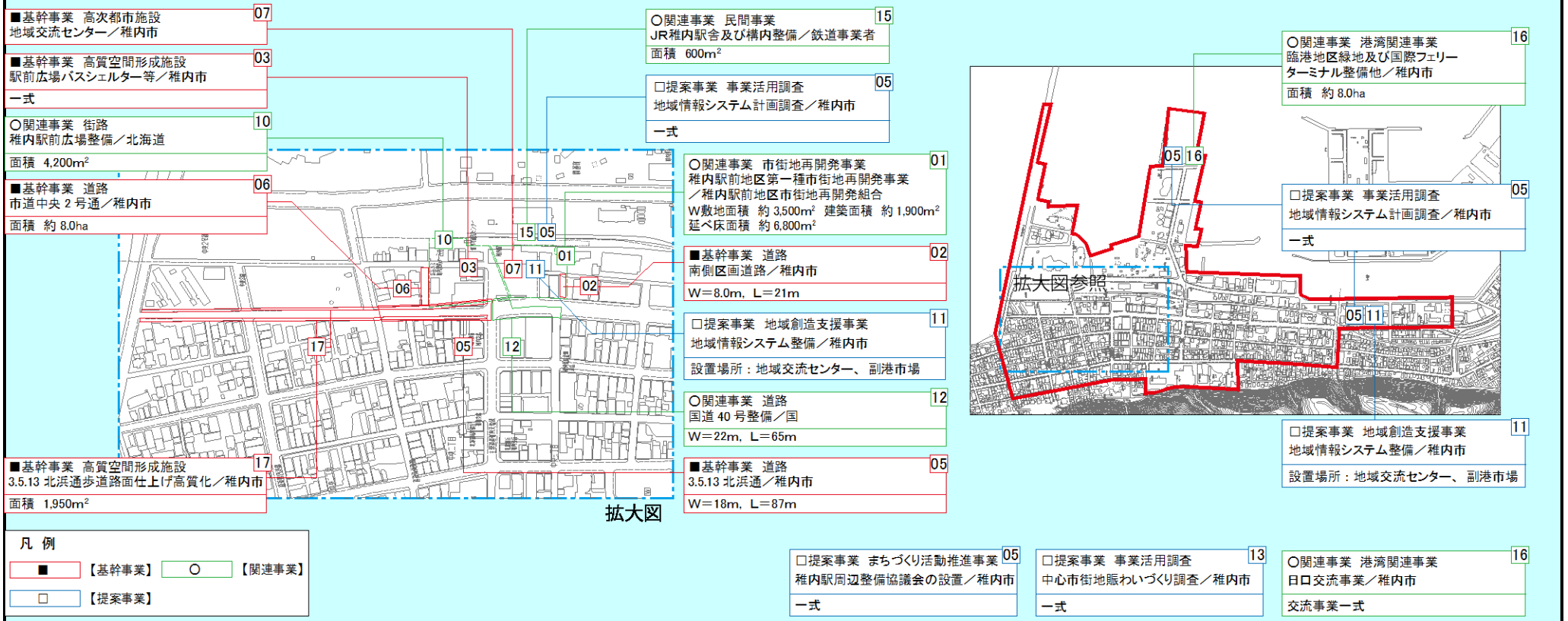
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	稚内市		地区名	稚内市中心市街地地区			面積	62			
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	895	国費率	0.437					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(3.5.13北浜通、市道中央2号通、南側区画道路)、高質空間形成施設(駅前広場バスシェルター)、高次都市施設(地域交流センター)、市街地再開発事業(稚内駅前地区第一種市街地再開発事業)										
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域情報システム整備、地域情報システム計画調査、中心市街地賑わいづくり調査、中心市街地移動円滑化基本構想策定、稚内駅周辺整備協議会の設置										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	市街地再開発事業(稚内駅前地区第一種市街地再開発事業)			第一種市街地再開発事業補助金を活用したため。			事業自体は実施しているので影響なし				
			提案事業	サハリン文化交流施設整備			稚内第一副港地区に、サハリンの観光や文化情報を発信する施設が整備され、機能の重複を避けるために削除した。			指標3 日口交流人口に関連するが、稚内第一副港地区で同様の施設が整備されたため指標及び数値目標は据え置き。				
	交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更														
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	市民の中心市街地への来訪頻度	%	8%	H17年度	16%	H23年度	モニタリング	評価値	51%	○	あり なし	副港市場やフェリーターミナルの整備、駅前再開発などこれまでの都市再生の取り組みが市民に評価された。	
	指標2	地域交流センターへの入込数	人	237,000	H17年度	540,000	H23年度			509,000	△	あり なし	● 地域交流センターの整備に加え、本市唯一の映画館や飲食物販施設等が整備され、利用の増進が図られた。	平成25年3月
	指標3	日口交流人口	人	6,000	H17年度	6,300	H23年度			3,903	×	あり なし	● 天然ガスの国家プロジェクトや世界経済市況の影響を大きく受け、利用者数は減少となった。	平成24年9月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	・市街地再開発事業の開発ビル竣工により、まちづくり会社によるソフト事業や市民による地域活動の機会が増加し、地域自主管理の取組みが発展している。 ・T-JOY稚内の開業により映画館が22年ぶりに復活し、中心市街地のまちづくりへの市民の関心が高まってきている。													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	雪明りイベントの実施 花いっぱい活動の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も関係機関と連携しながらイベントを継続的に実施し、稚内市を代表するイベントにする。			
持続的なまちづくり体制の構築	㈱まちづくり稚内(旧TMO)や商店街振興組合を中心とする中心市街地の活性化活動を展開する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 中心市街地の来訪者の利便性の向上と賑わい創出を図るため継続的に実施していく				

様式2-2 地区の概要

稚内市中心市街地地区(北海道稚内市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 日口友好最先端都市の形成 目標1 「マチ」と「みなと」が一体となった魅力ある都市構造の形成 目標2 「住んでみたい、訪れてみたい」マチ・稚内の実現(賑わいある生活街の形成) 目標3 海に開かれた交流による都市観光の推進	市民の中心市街地への来訪頻度	単位: %	8% H17	16% H23	51% H23
	地域交流センターへの入込数	単位: 人	237,000人 H17	540,000人 H23	509,000人 H23
	日口交流人口数	単位: 人	6,000人 H17	6,300人 H23	3,903人 H23
		単位: 人	H	H	H
		単位: 人	H	H	H



まちの課題の変化

- ・緑地、歩行空間、JR駅舎、再開発ビルなどの整備により、マチとみなとの分断が解消された。
- ・再開発事業により、JR・バスターミナルが一体的に整備され、利用者の利便性と安全性が確保された。
- ・まちなか情報コーナーが整備され、交通情報・観光情報・地域情報などのあらゆる情報が1か所で収集できるようになった。
- ・緑地及び野外ステージ等が整備され、従来以上に北海道遺産である北防波堤ドームの活用機会が増加した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- (1)再開発等により整備された施設の適切な管理運営
再開発等により整備された施設については、各施設の性格に応じて適切な管理運営を(株)まちづくり稚内を中心に実施。地域交流センターなどでは集客のための自主事業などの展開を図る。
- (2)まちの賑わいを持続させるための各種イベントの開催及び周遊マップの充実
「マチ」と「みなと」をつなぐ各種イベントの開催や一体的に周遊する周遊ルートの充実と通行しやすい道路、歩行空間の整備を図る。
- (3)まちなか居住の推進
まちなか居住の推進を図るため、借上げ方式による公営住宅の整備、中心市街地の空き地・空き家情報の提供を行う。
- (4)日口交流の活性化
様々な交流事業や交流活動を今後も継続的に展開を図っていく。青少年交流及び文化・スポーツ交流の継続に加え、経済交流の活性化に向けて、さまざまな情報発信を行う。

・従来までの青少年交流及び文化・スポーツ交流に加え、経済交流も行われるようになった。
・高齢者専用賃貸住宅及びグループホームが整備されたことで、まちなか居住の推進が図られた。
・ロシアとの交流人口自体は、サハリン3の情勢変化、世界経済の混迷、さらには東日本大震災の影響もあり、減少傾向が続いており、さらなる交流の活性化が課題である。